

## アンカー工に関する特記仕様書

### I. 基本調査試験

1. 本工事では、アンカーの設計に用いた地盤の極限周面摩擦抵抗の値を確認するため、基本調査試験を実施するものとし、基本調査試験の試験方法・試験結果の整理と判定については、「地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」※<sup>1</sup>によるものとする。なお、これに係る費用は、別途、技術管理費に積上げ計上している。

#### 2. 試験位置

基本調査試験を行う位置については、監督職員との協議により決定するものとする。

#### 3. 試験計画書の提出

受注者は、試験計画書を監督職員に提出しなければならない。

#### 4. 監督職員等による立会

基本調査試験の実施にあたっては、下記の事項について監督職員等の立会を受けるものとする。

時 期	確認項目	立会の程度
削孔時	定着地盤※ <sup>2</sup>	全数
削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	
基本調査試験用アンカー一体組立時及び挿入時	使用材料、挿入状況	
グラウト注入時	流下時間、加圧力	
基本調査試験時	緊張力	

#### 5. 監督職員への報告

受注者は、試験結果の整理と判定及び立会を受けた状況を監督職員に報告しなければならない。

6. 上記によりがたい場合は、監督職員と協議しなければならない。

※1 「地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説」は最新版によるものとする。

※2 定着地盤の確認方法については、監督職員と協議するものとする。

## Ⅱ. 段階確認

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
アンカー工		削孔時	定着地盤	一般：1回／10本 重点：1回／5本 ※削孔時からグラウト注入時までを同一孔で確認する。
		削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	
		アンカー体組立時及び挿入時	使用材料、設計図書との比較、挿入状況	
		グラウト注入時	流下時間、加圧力	一般：1回／1工事 重点：2回／1工事
		適性試験時（旧多サイクル確認試験時）	緊張力、定着力	
		確認試験時（旧1サイクル確認試験時）	緊張力、定着力	

・一般（監督）：重点監督以外の工事

・重点（監督）：下記の工事

- （イ）主たる工種に新工法・新材料を採用した工事      （ロ）施工条件が厳しい工事  
（ハ）第三者に対する影響のある工事                      （ニ）その他